

星槎大学福祉専攻の卒業生や関係者が実践している、地域課題や福祉課題の解決への取り組みを広く社会へ発信する無料シンポジウムです

テーマ：社会福祉がひらく共生社会

開催日時 令和7年2月23日（日）13:00～16:00

開催場所 オンライン（ZOOM）＋北海道鷹栖町会場

プログラム

13:00 開会 SSWFの紹介

13:10～14:40 シンポジウム

◎「ばとん」の実践について：ソーシャルワーク

独立型社会福祉士事務所 西中裕一氏

◎福祉のまちづくりについて

鷹栖町健康福祉課課長 松本宗平氏

15:00～15:50 富山Flag the 2nd 報告

◎障害のある人の地域参加～マルシェという場をとおして

近藤光子さん（福祉専攻学生）

16:00 閉会



シンポジウム

鷹栖町は、北海道のほぼ中央、上川管内の中心部に位置する人口6,472人、3,077世帯の町です。小高い山と大自然に囲まれ、基幹産業である農業を中心に発展し、良質なお米をはじめ豊富な農産物に恵まれています。北海道第二の都市・旭川市に隣接しており、圏域における医療や福祉、教育環境も充実しています。（<https://www.town.takasu.hokkaido.jp/>）

今回は、その鷹栖町で独立型社会福祉士事務所を運営し、文字どおり東奔西走し、人々がどんな福祉課題も自分ごととして考えられるような街づくり、人育てをしているソーシャルワーカー西中裕一氏と、いっしょになって福祉の街づくりに取り組んでいる松本宗平氏に登壇していただき、社会福祉がひらく共生社会を考えます。必聴・必見です。

富山Flag the 2nd 報告

Flag第二弾は再び富山からです。近藤光子さんは、教育現場場から特例子会社の社員に転身し、障がいをもつ人々の就労を支援しています。障がいをもつ人々は、教育にしても仕事にしても、障がいのない人々（健常者）から「分かれた」道筋・人生行路を歩まざるをえない実情を、なんとかできないか、市民が分け隔てなく集う「マルシェ」の可能性を探ります。

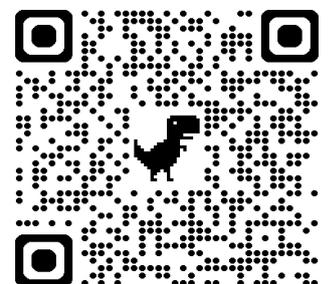
参加申し込み

右のQRコードから、必要事項をご記入の上お申し込みください。
どなたでも無料でご参加いただけます。

<https://forms.gle/7iif7XE4CTzPVBKKA>

SSWFに関する問い合わせ先：

発起人代表 堀越由紀子（星槎大学） y_horikoshi@seisa.ac.jp



Seisa Social Work Forum

せいさ ソーシャルワーク
フォーラム

- SSWFは、3つの活動から構成されています。Flag=旗は、草の根、ボトムアップの活動の象徴です。
- 星槎大学福祉専攻には、地域課題や福祉課題の解決に取り組んでいる（取り組もうとしている）学生や卒業生が多数います。そこで、全国各地で行われているそれらの活動をFlagと称し、情報交換し、知恵やアイデアを出し合って、皆で共生社会の創造を目指そうと星槎ソーシャルワーク・フォーラムを立ち上げました。

